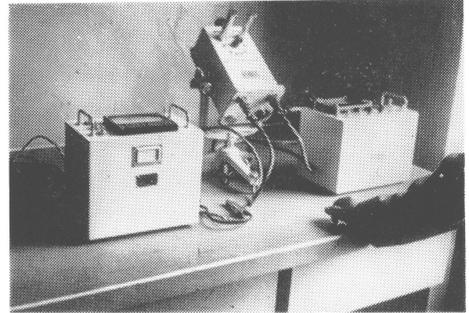




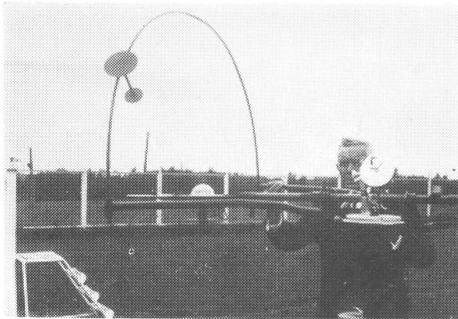
1. 中央地球物理研究所 (GGO) のメインビルディングの玄関

この建物はレニングラード市近くにあり主として管理部門と理論的研究室がある。この講堂で Budyko 博士の概略の沿革の説明があった



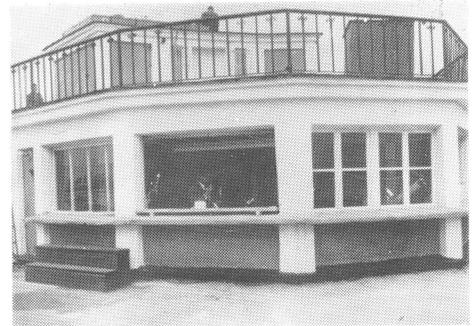
2. ソ連式オゾン測光器 (干渉フィルター使用, 約20箇所を設置されている由)

ソ連独自で開発しているオゾンスペクトロメーターでフィルター式とはいってもその波長巾は  $2\text{\AA}$  と誇っている。ソ連のネットワークと諸外国のドブソン式によるものとの関連はアルプカークの国際オゾン会議でも話題になっている



3. GGO ボエコーワ観測所の露場のふく射計

GGO の観測部門はレニングラードからバスで1時間位のボエコーワ村にあり主要な方向はもっぱら日射ふく射の各種の観測にむけられている。露場は見た所1万坪位ありこの種の器械がそこそこに12点在している

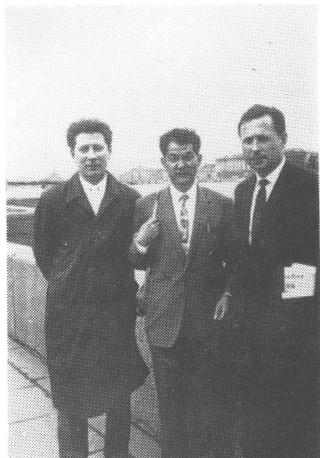


4. GGO ボエコーワ観測所屋上の日射計  
3の建物の屋上であるが燈色と白のこざっぱりしたものである



5. ヘルミターヂ博物館  
内の彫像に見入るロ  
ーゼンベルグ博士

ヘルミターヂはソ連でも有数の  
歴史的遺産であるといえて  
ソ連人の観光客が中々多い。  
ローゼンベルグ博士はモスク  
ワ在住の人であるが中々熱心  
に見入っていた



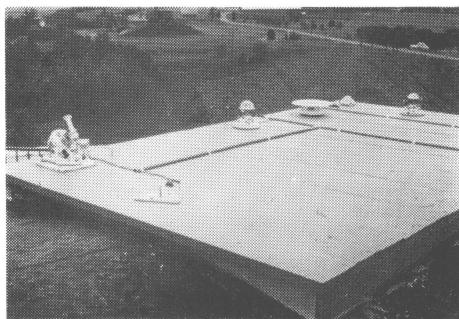
6. 左よりシフリン博士  
筆者コンドラティエ  
フ教授（ニバ河畔に  
て）

筆者がレニングラードに到着  
したその日、写真の両博士の  
出むかえと同時に市内見物に  
同行して下さった。これはニ  
バ河畔の公園前でとったもの  
である



7. 会場の演壇（正面は  
レーニン像、前にい  
るのは Howard 教授  
と通訳女史）

会場の色彩は褐色の机椅子と  
赤色ヂュータン・赤旗それに  
レーニンの像で大体の雰囲気  
が代表される。彩光は天井一  
面が半透明のガラスで出来て  
おりこれが屋間の彩光の役を  
している



8. ГГО ボエコーワ 観測所屋上の各種  
日射計

ГГО の観測所の屋上の最も高い所からとら  
れて写真で附近の会社がバックとなっている